

KiKiの広場

2019年 9月 1日

cafe NO.107
KiKi



「**ヒストリア**字部」と「cafe KiKi」は、今月の25日で丸9年になります。思えばオープン当初からいるメンバーは館長含め3人となりましたが、その後仲間入りしたスタッフも4～8年以上、清掃のKさんと共に長いお付き合いになります。また毎年同じ時期にイベントを催される団体さんや、何年も定期的に利用して下さっているグループ、毎週のように顔を合わせる方など、カフェの常連さんもそうですが、本当にみなさまから育てていただいているのを感じます。これからも来館される方に気持ち良く過ごしていただけるよう、今まで以上にスタッフが協力して、進化する「**ヒストリア**字部」&「cafe KiKi」目指して頑張ります！！みなさま、どうぞよろしくお願いたします。

9月の予定

休館日	10(火)	定休日	毎土・日曜日
臨時	30日(月)13時まで営業		
休業日	2日(月)・16日(水)・23日(月)		



「今月のケーキ」…「マロンケーキ」 350円

マロンクリームをカラメル風味のスポンジではさんで、クラッシュマロンとマロンペーストをトッピングした、毎年人気のケーキです。

今月のお気に入り…「月の不思議・魅力をいっぱい味わおう！」

～「月の満ちかけ絵本」「月からきたうさぎ」「つきがみていたはなし」「りすとお月さま」「なかいよるのおつきさま」など～



太古から人の生活と関係が深い月。でも知らないことも、まだまだたくさんあります。「月の満ちかけ絵本」は、新月から1日1日の月の名称とエピソードが載っています。カレンダーの語源となる月や、織姫を乗せる舟となる月など、面白い話がたくさんあります。この絵本を読むと毎晩夜空の月を見上げたくなります。「月からきたうさぎ」は、みなみらんぼうさんと黒井健さん作。みなみさんの森への深い想いから生まれたそうです。人間の身勝手さが悲しいお話ですが、黒井さんの描く月や森の自然がとても美しくお話を優しく包み込んでいます。ブナの木や不思議なハナイカダの木についても知ることができます。



今月の本棚…「大人も子どももみんな大好き！！ぐりとぐらシリーズ」

～「ほくらのなまえはぐりとぐら」「ぐりとぐらのおまじない」「ぐりとぐらとくるいぐら」「ぐりとぐらとすみれちゃん」など～



みんなから愛され続けている「ぐりとぐら」が生まれたのは1963年、56年前です。その時のタイトルは「たまご」。当時保育士だった作者の中川さんは、「ちびくろサンボ」のホットケーキよりも、もっと美味しいものを子どもたちにごちそうしたくて、大きな卵を使ったカステラが出てくるお話を作られたそうです。

「ほくらのなまえはぐりとぐら」のサブタイトルは絵本「ぐりとぐら」のすべてです。山脇さんが可愛らしい野ねずみの絵を最初に描く時に困ったことや、森の仲間や動物たち、小物やファッションなども詳しく載っています。ぐりとぐらは双子の兄弟ですが、中川さんは子どもの頃から双子に憧れていたというお話や、お話に出てくる料理のレシピや歌の楽譜など、ぐりとぐらファンにはたまらない1冊です。



ほっとブレイク

ヒストリアのアイドル！！その2…アイドルKちゃんが、10カ月になりました。自分のスカートをめくって顔を隠し

「いないいない」と言うと、「ばあ！」と言いながら顔を出したり、お座りしてバナナやおせんべいを手に持ち、満面の笑顔で食べたり、1つ1つの仕草が本当に可愛くて。先日つかまり立ちをしている姿を見て、感無量！！私よりずっと若い受付のNさんは、その姿を見てウルウルしたそうです。孫には早いでしょうが、Nさんにとって思いは孫同然のよう。となると、館長はひいじいちゃん？（いやいや💦 ごめんなさい💦!(^_^)!!)そして、なんと



なんと、学生スタッフのMちゃんとFちゃんとSくんは、コミカレの講師の方から、「お父さん？」と聞かれたそうです。20歳前後の若い3人、Kちゃん大好きでつかまり立ちをスマホで撮ったりと新米パパのようではありますが・・・嬉しいような恥ずかしいような、苦笑いをしている3人の姿を想像すると、何とも微笑ましいです。今、Kちゃんがみんなを笑顔にしてくれています。♡